

2022年7月12日

じゃらん宿泊旅行調査 2022 【都道府県魅力度ランキング編】



食の満足度は北陸3県が2005年の調査開始以来初の上位独占。総合満足度1位は和歌山県

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の観光に関する調査・研究、地域振興機関『じゃらんリサーチセンター』（JRC、センター長：沢登 次彦）は、全国1万4,123人の宿泊旅行者を対象に「じゃらん宿泊旅行調査 2022」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う国内旅行実態（出張・帰省・修学旅行などを除く）を調べるもので、今年で18回目となります。その中の、都道府県魅力度ランキングの2021年度（2021年4月～2022年3月）について、主な結果は以下の通りです。

【地元ならではのおいしい食べ物が多かったランキング】

北陸3県がベスト3を独占！

- **福井県**が1位を獲得。さらに2位に**石川県**、3位に**富山県**がつけ、ベスト3を北陸3県が独占する形となった。いずれも海鮮グルメが強い。新たにランクインした4位の**鹿児島県**は「黒豚」、6位の**三重県**は「伊勢海老」、10位の**岐阜県**は「飛騨牛」が圧倒的人気。

【魅力のある特産品や土産物が多かったランキング】

16年間1位だった沖縄県に代わり石川県が1位。和菓子や酒類が人気。

- 調査開始以来1位を維持していた沖縄県を**石川県**が追い抜いた。2020年度圏外だった**愛媛県**が4位にランクインした。

【地元の人のホスピタリティを感じたランキング】

沖縄県は17回目の1位。中国地方から島根県がランクイン。

- **沖縄県**が17回目の1位を獲得。宿泊施設や観光施設以外にも、居酒屋での食事時、マリンスポーツの体験時などで親切にもらったという回答が多い。2位の**愛媛県**は圏外から一気にランクイン。



JRC 主席研究員
森戸 香奈子

《解説》魚介、肉、酒、菓子…地産地消のレベルがスゴイ！

今年のトピックは、なんといっても食のランキングで**北陸3県がベスト3を独占**したこと。また、特産品においては、**今年は地酒や日本酒などのコメントが多く見られました**。菓子類や果物なども変わらず人気で、旅先での地産地消が着実に進む中、地域側の商品開発力も年々上がってきています。

総合満足度1位は和歌山県。特徴として、県内旅行者の割合が2020年度よりもUPしている点が挙げられます。関西圏ではおなじみの観光エリアですが、コロナ禍で遠出しにくい環境となり、和歌山県の方々にとって、地元の観光力の高さに改めて気付くきっかけになったようです。

本件に関する
お問い合わせ先

株式会社リクルート コーポレートコミュニケーション推進室

奥井 涼子 TEL：080-3216-6986 E-mail：suzuko_o@r.recruit.co.jp

鈴木 宇望 TEL：080-4004-9397 E-mail：takami_suzuki@r.recruit.co.jp

◎調査方法 インターネットによる調査

■1次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者を抽出することに加え、性・年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施した
 - ②調査時期 2022年4月1日（金）～2022年4月21日（木）
 - ③調査対象 全国20～79歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
 - ④配信数 212万4,882件
 - ⑤調査内容 2021年度（2021年4月～2022年3月）1年間の国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）実態
 - ⑥回収数 9万9,056件（回収率4.7%）
 - ⑦集計対象者 2万件
 - ※2次調査において都道府県別、性・年代別の割付にあった回収が得られるように配信した
- ・配信数と割付について
 - 2次調査のセル別目標回収数は、「令和2年 国勢調査」の都道府県別、性・年代別の人口におおむね従うように47都道府県を5ランクに分けサンプル数を割り付けて配信した
 - ランクごとに6:5:3:2:1の割合で、合計約1万4,000件の回収を目標とした
 - ・2次調査の配信数について
 - ウェイトバック値のバランスをなるべくそろえるために、県別に均等割付ではなく、ランクを設けて割付を行った上で、1次調査および追加調査の旅行実施者3万3,767件を都道府県ごとに分配し、サンプル数を割り付けて配信した
 - ※回収された9万9,056件のうち都道府県別、性・年代別に割付を行い2万件を抽出
 - 性・年代別宿泊旅行実施率を算出

■2次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者に対して、宿泊旅行の内容を知るために実施した
- ②調査時期 2022年4月8日（金）～2022年4月21日（木）
- ③調査対象 3万3,767件（うち、同居家族モニター129件）
 - ・1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人：3万3,638件
 - ・追加調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人のうち、調査協力が得られた60歳以上の家族本人：129件
 - ※調査回収難度が高い60歳以上の回収数を増やすために追加調査を実施した
 - 追加調査は株式会社マクロミルの登録モニターのうち60歳以上の家族と同居しているモニターを対象として、該当家族が同席する上で回答という条件で実施した
 - （回収数6,686件<配信数7万7,828件 回収率8.6%>、2次調査対象者数129件）
- ④配信数 2万8,383件（うち、同居家族モニター45件）
 - ※配信数は対象者の中から都道府県別、性・年代別の割付に合わせてランダムに抽出した
- ⑤調査内容 昨年度1年間に実施した全ての宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の行き先と回数について、また1人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査した
- ⑥回収数 1万4,187件（回収率50.0%）
- ⑦有効回答数 1万4,123件（うち、同居家族モニター27件）
 - （旅行件数ベース2万5,840件）

■ 地元ならではのおいしい食べ物が多かった

1位：福井県、2位：石川県、3位：富山県

北陸3県がベスト3を独占！
黒豚、飛騨牛など肉系も大人気。

福井県が1位を獲得。さらに2位に石川県、3位に富山県がつけ、ベスト3を北陸3県が独占する形となった。いずれも海鮮グルメが強く、福井県は「かに」「そば」、石川県は「寿司」「かに」「のどぐろ」、富山県は「刺身」「白海老」「ぶり」などの名前が挙がる。新たにランクインした4位の鹿児島県は「黒豚」、6位の三重県は「伊勢海老」、10位の岐阜県は「飛騨牛」が圧倒的な人気。

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	62.0	全体平均	63.7
1位 福井県	79.0	1位 石川県	80.0
2位 石川県	77.1	2位 高知県	78.8
3位 富山県	74.1	3位 福井県	74.6
4位 鹿児島県	73.4	4位 宮城県	73.9
5位 北海道	73.3	5位 徳島県	73.8
6位 三重県	72.7	6位 青森県	73.6
7位 沖縄県	72.4	6位 香川県	73.6
8位 高知県	72.2	8位 北海道	73.3
9位 山形県	72.1	9位 山形県	73.0
10位 岐阜県	72.0	10位 富山県	72.9

■ 魅力のある特産品や土産物が多かった

1位：石川県、2位：沖縄県、3位：山形県

16年間1位だった沖縄県に代わり石川県が1位。
和菓子、酒類、郷土料理などの名前が挙がる。

調査開始以来1位を維持していた沖縄県を石川県が追い抜いた。海産物に加え、「和菓子」や「酒・地酒・日本酒」などが人気。3位の山形県も「酒・地酒・日本酒」が人気だが、「さくらんぼ」などの果物も多く挙がる。圏外よりランクインした4位の愛媛県は「みかん」「柑橘類」「タルト」など菓子やデザートが人気。6位の鹿児島県は「焼酎」「さつまあげ」「かるかん」、10位に入った熊本県は「馬刺し」「からしれんこん」など郷土料理が人気。

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	50.9	全体平均	52.0
1位 石川県	65.0	1位 沖縄県	65.9
2位 沖縄県	63.4	2位 青森県	64.9
3位 山形県	61.9	3位 石川県	64.0
4位 愛媛県	61.5	4位 高知県	63.4
5位 北海道	60.9	5位 北海道	61.8
6位 鹿児島県	60.2	6位 長崎県	59.9
7位 京都府	59.3	7位 徳島県	59.3
8位 青森県	58.3	8位 宮城県	59.1
9位 長崎県	57.9	8位 山形県	59.1
10位 高知県	57.8	8位 宮崎県	59.1
10位 熊本県	57.8		

■ 魅力的な宿泊施設が多かった

1位：大分県、2位：沖縄県、3位：群馬県

大分県が2年ぶりに1位を奪還。
群馬県が初のベスト3入り。

大分県が2年ぶり11回目の1位を獲得。多くの温泉宿の名前が挙がる。2位の沖縄県は、洗練されたリゾートとしての評価が高い。3位の群馬県は調査開始以来初のベスト3入りを果たした。温泉宿以外にもキャンプやグランピングなどの施設名も挙がる。8位の静岡県ではペットと泊まれる宿を挙げる人も。9位の京都府は老舗のシティホテルから町屋風、駅近、トレインビュー、プランの豊富さなどさまざまな宿泊施設のスタイルについてのコメントが見られた。

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	50.2	全体平均	52.1
1位 大分県	68.0	1位 沖縄県	63.6
2位 沖縄県	65.6	2位 大分県	61.9
3位 群馬県	59.0	3位 神奈川県	61.1
4位 神奈川県	58.3	4位 群馬県	60.3
5位 鹿児島県	58.1	4位 和歌山県	60.3
6位 北海道	57.8	6位 熊本県	58.7
6位 石川県	57.8	7位 佐賀県	58.0
8位 静岡県	56.9	8位 北海道	57.4
9位 京都府	56.1	9位 静岡県	56.8
10位 山形県	55.2	10位 鹿児島県	56.5

■ 地元の人のホスピタリティを感じた

1位：沖縄県、2位：愛媛県、3位：北海道

沖縄県は17回目の1位。
中国地方から島根県がランクイン。

1位の沖縄県は17回目の1位を獲得。宿泊施設や観光施設以外にも、居酒屋での食事時、マリンスポーツの体験時などで親切にしてくれたという回答が多い。2位の愛媛県は圏外から一気にランクイン。温泉地やレストランでの接客の評価が高い。他、5位の石川県も圏外からランクイン。「どの店に行ってもみんな親切」などのコメントが見られた。

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	28.3	全体平均	27.7
1位 沖縄県	46.6	1位 沖縄県	45.2
2位 愛媛県	36.8	2位 宮崎県	34.4
3位 北海道	36.1	3位 北海道	33.4
4位 山形県	35.9	4位 山形県	32.8
5位 石川県	35.0	5位 秋田県	32.6
6位 徳島県	34.8	6位 徳島県	32.5
7位 青森県	33.2	7位 青森県	32.0
8位 大分県	32.9	8位 福島県	31.3
9位 島根県	32.8	9位 熊本県	31.2
10位 秋田県	32.5	10位 島根県	31.1

■ 子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

1位：千葉県、2位：沖縄県、3位：和歌山県

千葉県は17回目の1位。

ベスト3は14回連続で順位の変動なし。

1位から3位までの順位は2008年度から変化がなく、テーマパークや水族館、ビーチなどが人気の要因。アクティビティの楽しさだけでなく、小さい子供向けのサービスなども評価のポイント。6位に入った北海道は、プールやテーマパーク、動物園などが人気。10位の山梨県はテーマパークに加えてキャンプやフルーツ狩りなどのアクティビティが人気を集めている。

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	26.0	全体平均	24.2
1位 千葉県	46.9	1位 千葉県	43.4
2位 沖縄県	39.4	2位 沖縄県	37.9
3位 和歌山県	34.2	3位 和歌山県	34.5
4位 長崎県	32.2	4位 大阪府	31.3
5位 三重県	32.1	5位 三重県	30.9
6位 北海道	30.9	6位 長崎県	30.8
7位 大阪府	30.8	7位 大分県	28.1
8位 栃木県	30.6	8位 栃木県	27.9
9位 茨城県	30.4	9位 茨城県	27.3
10位 山梨県	29.3	10位 徳島県	26.5

(単位：%)

■ 若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

1位：沖縄県、2位：千葉県、3位：大阪府

ベスト3は2020年度と変化なし。

ビーチや水族館、テーマパークが人気。

1位から3位までの順位は2020年度と変わらず。1位の沖縄県は海や水族館、マリンスポーツが人気。2位の千葉県、3位の大阪府はテーマパークが一番人気だが、千葉県はグランピングやサーフィンなどの海遊び、大阪府は街歩きなども。6位に神奈川県、8位に山梨県、9位に兵庫県、10位に大分県がランクイン。9位の兵庫県はニューオープンのテーマパークの名前も多く挙がった。

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	28.4	全体平均	26.3
1位 沖縄県	47.7	1位 沖縄県	48.4
2位 千葉県	44.6	2位 千葉県	41.1
3位 大阪府	37.0	3位 大阪府	38.1
4位 長崎県	34.0	4位 長崎県	31.9
5位 北海道	33.8	5位 東京都	31.8
6位 神奈川県	31.8	6位 北海道	30.1
7位 東京都	31.2	7位 三重県	29.2
8位 山梨県	30.7	8位 和歌山県	29.0
9位 兵庫県	30.5	9位 福岡県	28.7
10位 大分県	30.3	10位 香川県	27.6

(単位：%)

■ 大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった

1位：京都府、2位：奈良県、3位：沖縄県

京都府は12年ぶり3回目の1位。2位に奈良県。

神社仏閣巡りが大人レジャーの王道。

京都府が調査開始以来12年ぶり、3回目の1位を獲得。神社仏閣巡りを挙げる人が多数。2位の奈良県は3年ぶりのベスト3入り。3位の沖縄県は海やマリンスポーツ、宿泊施設を挙げる人も多い。5位大分県、6位神奈川県、9位愛媛県、10位北海道が圏外からランクイン。

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	40.2	全体平均	39.7
1位 京都府	52.7	1位 沖縄県	52.5
2位 奈良県	51.2	2位 京都府	52.0
3位 沖縄県	51.1	3位 三重県	46.5
4位 千葉県	49.3	4位 長崎県	45.8
5位 大分県	46.6	5位 千葉県	45.6
6位 神奈川県	45.2	5位 徳島県	45.6
6位 長崎県	45.2	7位 石川県	45.0
8位 石川県	44.5	8位 奈良県	44.8
9位 愛媛県	43.5	9位 山梨県	44.3
10位 北海道	43.1	10位 和歌山県	43.9

(単位：%)

■ 現地で良い観光情報を入手できた

1位：沖縄県、2位：京都府、3位：愛媛県

ホテルや観光地など従来の情報収集手段は定番。

SNSや地元民からの情報で地域差が。

ホテルや飲食店、観光地、観光案内所、パンフレットなどの従来の情報収集手段に加え、インターネットやSNSなどが増加。特に2位の京都府はSNSや検索サイトなどが他県より多く挙がる傾向にある。一方、11回連続1位の沖縄県は地元の人からの情報が目立つのが特徴。

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	28.1	全体平均	27.2
1位 沖縄県	46.1	1位 沖縄県	42.0
2位 京都府	36.9	2位 京都府	35.7
3位 愛媛県	36.8	3位 石川県	33.4
4位 北海道	36.4	4位 徳島県	33.3
4位 徳島県	36.4	5位 青森県	32.7
6位 高知県	34.9	5位 香川県	32.7
7位 鹿児島県	34.2	7位 北海道	31.7
8位 島根県	33.5	8位 島根県	31.3
9位 石川県	32.7	9位 山梨県	31.2
10位 奈良県	31.5	9位 長崎県	31.2

■ ご当地ならではの体験・アクティビティが楽しめた

1位：沖縄県、2位：徳島県、3位：大分県

沖縄県が2回連続1位で圧倒的な強さ。
少数ながらご当地ならではの特性を生かした体験も。

沖縄県が1位で、多くの方がマリンスポーツを挙げている。2位の徳島県は渦潮観光が人気。3位の大分県は温泉巡りや地獄蒸しなど。温泉や自然環境を利用したキャンプや釣りなどが多く挙がるが、少数派ながら「カーリング体験」「マグロ狙いのチャーター船」「マグロ解体ショー」「ウニ割体験」「ストーブ列車」「雪の中の街散策」など地域資源を生かしたさまざまなアクティビティが挙げられた。

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	35.3	全体平均	33.8
1位 沖縄県	53.8	1位 沖縄県	51.8
2位 徳島県	45.5	2位 山梨県	44.2
3位 大分県	45.2	3位 和歌山県	41.7
4位 長野県	44.3	4位 徳島県	40.0
5位 北海道	43.1	5位 北海道	39.1
6位 山形県	42.2	5位 大分県	39.1
7位 和歌山県	42.1	7位 青森県	39.0
8位 群馬県	40.8	8位 群馬県	38.9
9位 青森県	40.7	8位 長野県	38.9
10位 岐阜県	40.2	10位 福島県	38.3

■ 総合満足度

1位：和歌山県、2位：沖縄県、3位：三重県

和歌山県が2020年度8位から7ランクアップで1位。
上位10府県は4pt以内の僅差で並ぶ。

僅差で和歌山県が沖縄県を上回り1位に。4pt以内の差でベスト10が並んだ。3位の三重県、6位の青森県、8位の長崎県、9位の静岡県が圏外からランクインした。

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	84.6	全体平均	85.8
1位 和歌山県	91.0	1位 沖縄県	91.6
2位 沖縄県	90.8	2位 福井県	89.0
3位 三重県	89.7	2位 京都府	89.0
4位 北海道	88.3	4位 石川県	88.9
5位 京都府	88.1	5位 北海道	88.8
6位 青森県	88.0	6位 山梨県	88.7
7位 福井県	87.8	6位 岐阜県	88.7
8位 長崎県	87.5	8位 和歌山県	88.3
9位 静岡県	87.2	9位 大分県	88.2
10位 大分県	87.1	10位 宮城県	88.0

<ランキングの算出方法> ※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース

①訪問した旅行先の評価を「そう思う」「ややそう思う」「ふつう」「あまりそう思わない」「そう思わない」の5段階から選択

②「そう思う」「ややそう思う」計の割合が高い順にランキング

③総合満足度においては「とても満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満」「とても不満」のうち、「とても満足」「やや満足」計の割合が高い順にランキング

<コメントの回答方法> 「そう思う」「ややそう思う」と回答した設問に任意でコメント記入

※対象設問：「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」「魅力のある特産品や土産物が多かった」「魅力的な宿泊施設が多かった」「地元の人のホスピタリティを感じた」「子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった」「現地で良い観光情報を入手できた」「ご当地ならではの体験・アクティビティが楽しめた」

■ 特定のイベントやアクティビティに興味があったから

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	33.8	全体平均	29.4
1位 沖縄県	44.7	1位 沖縄県	45.0
2位 大阪府	44.5	2位 大阪府	39.3
3位 千葉県	44.0	3位 長崎県	38.2
4位 北海道	40.7	4位 千葉県	38.1
5位 長崎県	39.9	5位 東京都	34.7
6位 東京都	38.3	6位 北海道	33.6
7位 茨城県	37.3	7位 徳島県	33.0
8位 福岡県	36.9	8位 青森県	32.5
9位 福井県	36.5	9位 茨城県	31.8
10位 宮城県	35.0	10位 山梨県	31.5
10位 愛媛県	35.0		

■ テレビや雑誌などで話題になっていたから

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	23.3	全体平均	21.3
1位 北海道	33.2	1位 沖縄県	33.1
2位 長崎県	32.3	2位 長崎県	30.0
3位 京都府	29.3	3位 北海道	27.9
4位 沖縄県	29.0	4位 青森県	27.2
5位 石川県	27.9	5位 大分県	26.0
6位 大分県	26.0	6位 京都府	24.9
7位 山口県	25.7	7位 福岡県	24.5
8位 神奈川県	25.5	8位 石川県	24.4
9位 千葉県	24.4	9位 大阪府	24.3
10位 愛媛県	24.1	10位 宮崎県	23.7

■ 特定の観光地・観光スポットに興味があったから

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	63.1	全体平均	63.1
1位 奈良県	77.1	1位 長崎県	76.9
2位 島根県	76.8	2位 島根県	76.2
3位 三重県	74.6	3位 奈良県	75.9
4位 長崎県	73.9	4位 沖縄県	72.2
5位 京都府	73.3	5位 京都府	71.7
5位 鹿児島県	73.3	6位 石川県	71.6
7位 沖縄県	72.4	7位 三重県	71.5
8位 岐阜県	72.1	8位 徳島県	71.4
9位 愛媛県	71.5	9位 青森県	71.2
10位 和歌山県	71.1	9位 広島県	71.2

■ そこならではの食・特産品に興味があったから

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	46.5	全体平均	46.7
1位 福井県	62.8	1位 石川県	64.2
2位 北海道	61.0	2位 高知県	61.3
3位 長崎県	59.8	3位 沖縄県	58.2
4位 高知県	59.7	4位 北海道	57.9
5位 石川県	59.2	5位 広島県	56.6
6位 鹿児島県	58.8	6位 香川県	56.1
7位 沖縄県	55.2	7位 福井県	55.4
8位 山形県	54.9	8位 三重県	55.2
9位 三重県	54.6	8位 佐賀県	55.2
10位 佐賀県	53.5	10位 福岡県	54.9

■ 良い宿・ホテルがあったから

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	59.5	全体平均	62.1
1位 大分県	71.1	1位 大分県	74.7
2位 静岡県	69.5	2位 神奈川県	72.2
3位 群馬県	68.7	3位 群馬県	71.8
4位 三重県	68.6	3位 静岡県	71.8
5位 神奈川県	68.4	5位 福島県	71.0
6位 和歌山県	67.0	6位 栃木県	70.4
7位 福島県	65.4	7位 和歌山県	69.5
8位 新潟県	65.3	8位 兵庫県	66.8
9位 栃木県	65.2	9位 熊本県	66.7
10位 岐阜県	64.7	10位 佐賀県	66.6

■ 魅力的な温泉があったから

(単位：%)

2021年度 順位		2020年度 順位	
全体平均	41.7	全体平均	44.1
1位 大分県	74.6	1位 群馬県	77.0
2位 群馬県	72.8	2位 大分県	76.1
3位 岐阜県	62.1	3位 栃木県	63.8
4位 鳥取県	60.2	4位 熊本県	63.3
5位 山形県	59.8	5位 佐賀県	62.4
6位 和歌山県	59.7	6位 山形県	62.0
7位 鹿児島県	59.3	6位 福島県	62.0
8位 静岡県	58.7	8位 岐阜県	61.8
9位 栃木県	58.6	9位 和歌山県	59.6
9位 佐賀県	58.6	10位 秋田県	59.1

<ランキングの算出方法> ※集計は各都道府県への宿泊旅行件数がベース

- ①訪問した旅行先を選んだ理由を「当てはまる」「やや当てはまる」「どちらともいえない」「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の5段階から選択
- ②「当てはまる」「やや当てはまる」計の割合が高い順にランキング

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここいない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>